



1. マーケット・レート

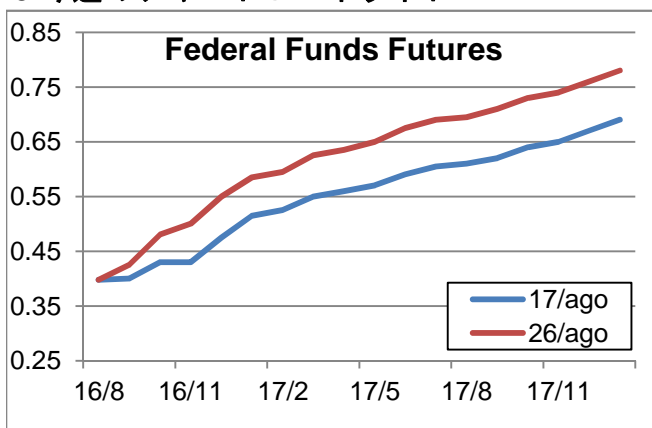
			8月22日	8月23日	8月24日	8月25日	8月26日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2000	3.2350	3.2240	3.2340	3.2650	+0.0310
	BRL/JPY	Spot	31.34	30.99	31.14	31.08	31.17	+0.09
	EUR/USD	Spot	1.1321	1.1306	1.1265	1.1282	1.1196	-0.0086
	USD/JPY	Spot	100.32	100.24	100.42	100.52	101.83	+1.31
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	13.82	13.82	13.83	13.83	13.84	+0.0111
	Future	1Year(p.a.)	13.12	13.12	13.10	13.13	13.12	-0.0104
	On-shore	6MTH(p.a.)	1.999	2.097	2.230	2.208	2.339	+0.131
	USD	1Year(p.a.)	2.194	2.222	2.272	2.351	2.452	+0.101
株式	Bovespa指数		57,781.24	58,020.04	57,717.88	57,722.14	57,716.25	-5.89
CDS	CDS Brazil 5y		254.53	254.88	260.39	261.66	259.33	-2.33
商品	CRB指数		187.081	188.375	185.746	186.243	186.111	-0.132

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2. 週間市況、トピックス

- 今週のレアルはFRB議長のタカ派発言を受けて8月の安値圏まで下落。
- レアルは週初3.2060で寄り付いた。先週末の報道で伯財務相が輸出促進のためのレアル安誘導に否定的な姿勢を示したことを受けてレアルは週間高値となる3.1860を示現。その後はルセフ大統領の弾劾最終採決やFRB議長講演を控えて3.20台前半でのレンジ相場となった。週末にかけて行われたFRB議長講演がタカ派の内容となり、フィッシャーFRB副議長が9月利上げ可能性を残すと述べたことを受けてエマーシング通貨が売られると、レアルは週間安値3.2770を示現し、3.2650で越週。
- 伯中銀公表のアナリスト予想集計では、2016年のGDP成長率予想とインフレ率予想がそれぞれ▲3.2%と7.31%に据え置かれた。2017年はGDP成長率予想は+1.1%から+1.2%へ上方修正され、インフレ率予想は5.14%から5.12%に下方修正された。
- 25日、上院本会議がルセフ大統領に対する弾劾審議を開始。審議は約4日間続き、29日にはルセフ大統領が30分間演説を行う予定。30日に採決が始まり、結果判明は30日夜半過ぎ、もしくは31日未明と見られている。
- 26日、米ワイオミング州ジャクソンホールで行われた年次シンポジウムでイエレンFRB議長が講演し、労働市場の堅調さが続いていることや、経済活動とインフレに対する当局の見通しを考慮すると政策金利引き上げの根拠はこの数か月で強まったと述べた。また、先行きについてFOMCはGDPが緩やかに成長し、労働市場は一段と力強さを増し、インフレ率は今後数年間に2%に上昇すると予想していると指摘。議長のタカ派発言を受けて、為替市場はドル全面高の展開となった。
- 今週の伯中銀は連日5億ドル、週間合計25億ドルのドル買い介入を実施。伯中銀のドル売りスワップのポジションは411億ドルまで減少した。伯中銀は来週月曜日も5億ドルの介入を実施すると発表。

3. 今週のチャート&ハイライト



出所：Bloomberg

FRB議長講演で米金利上げ観測強まる

26日に行われたイエレンFRB議長の講演でハト派の内容が示され、同日に行われたフィッシャーFRB副議長もインタビューに対して9月利上げは可能との認識を示したことで、米利上げ期待が高まっている。先週のFOMC議事録では利上げに関する意見が理事の中で割れていたことが示され、利上げ期待は後退していたが、今回の講演を受けて米国の先物金利が上昇。為替市場ではドル全面高の展開となり、中南米通貨の対ドルレートは先週末比▲2.0%～▲1.0%となった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。



4. 来週の為替市場注目点

予想ドル・レアル相場レンジ：3.10－3.40

来週は主要なイベントが目白押しとなっている。週中にルセフ大統領弾劾採決の結果が発表される見込みとなっている他、31日には伯第2四半期GDPとCOPOM、2日には米国で8月の雇用統計が発表される。ルセフ大統領弾劾については成立を確実視する向きが大宗を占める。弾劾成立後にテメル政権の財政改革の動きが強まるとの期待感から3.00を超えてレアル高が進むとの見方も多いが、弾劾のイベントは既にレートに織り込み済みとの声も多く、レアルはボラタイルな展開が予想される。伯第2四半期GDPは前期比で▲0.6%～▲0.2%のマイナス成長を予想する声が多い。COPOMではインフレ率が8%後半で足踏みしている状況を鑑みると、政策スタンスに大きな変化はないと予想される。米雇用統計では非農業部門雇用者数が前月の255千人から180千人に減速する予想となっている。

5. 本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FIPE CPI-週次	0.02%	-0.03%	0.05%
ブラジル	FGV建設コスト(前月比)	0.26%	0.26%	1.09%
ブラジル	CNI Consumer Confidence	--	102.0	101.2
米	GDP(年率/前期比)	1.1%	1.1%	1.2%
米	個人消費	4.2%	4.4%	4.2%
米	ミシガン大学消費者マインド	90.8	89.8	90.4

6. 来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	8/29	貿易収支(週次)	Aug 28	--	\$541m
米	8/29	個人所得	Jul	0.4%	0.2%
ブラジル	8/30	FGVインフレーション(GPM(前月比))	Aug	0.15%	0.18%
ブラジル	8/30	全国失業率	Jul	11.5%	11.3%
ブラジル	8/30	中央政府財政収支	Jul	-19.5b	-8.8b
ブラジル	8/31	GDP(前期比)	2Q	-0.5%	-0.3%
ブラジル	8/31	基礎的財政収支	Jul	-18.0b	-10.1b
ブラジル	8/31	SELICレート	Aug 31	14.25%	14.25%
ブラジル	9/1	FGV CPI IPC-S	Aug 31	0.41%	0.39%
ブラジル	9/1	マーケット・ブラジルのPMI製造業	Aug	--	46
ブラジル	9/1	貿易収支(月次)	Aug	\$4150m	\$4578m
米	9/1	ISM製造業景況指数	Aug	52.0	52.6
ブラジル	9/2	鉱工業生産(前年比)	Jul	-7.0%	-6.0%
米	9/2	非農業部門雇用者数変化	Aug	180k	255k
米	9/2	失業率	Aug	4.8%	4.9%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さい。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。